

# 震災復興推進特委を設置

2月定例会において、議長を除く全議員で構成する「岩沼市議会震災復興推進特別委員会」を設置しました。

市では、震災復興計画に基づき各種事業を推進して

おり、市議会としても、これまで8回にわたり全員協議会を開催し、市長に対して被災状況や復旧計画等の説明を求めたほか現地調査を行い、復旧・復興への提言等を行ってまいりました。さ

らに、集団移転等の対策、農業の再生、地盤沈下による浸水対策等への早急な対策に取り組まなければなりません。

3月13日に1回目の委員会を開催し、委員長に飯塚悦男議員、副委員長に松田由雄議員を選出しました。

4月6日に2回目の委員会を開催し、執行部から震

災復興に関する対応、進捗などの説明がありました。委員からは、復興交付金事業計画、防災集団移転計画、自然共生・国際医療産業都市、災害廃棄物処理等についての質疑がありました。

今後、市民の声を反映させながら、復興の推進に関する調査をし、提言等を行っていきます。

## 議員80人が聞き入る

2月10日に巨理名取地区市町議会連絡協議会議員研修会が岩沼市勤労者活動センターで開催されました。

講師には、元全国都道府県議会議長会議事調査部長の野村稔氏を迎え「地方議会改革」についての講演がありました。

岩沼をはじめ、名取、巨理、

山元の各市町議員約80人が熱心に聞き入りました。

議員は知恵を出し合い、執行機関を監視して政策提言を行うこと、また一般質

必要なこともあり「不満足の満足」という考え方が大切である、との提言を頂きました。

講師の野村氏から東日本

# 実現可能な政策提言を

問は、足で得た情報を基に、追及だけではなく実現可能な提言を行い、質問と意見を5対5で述べることなどの助言を頂きました。

大震災の復興に対して、多大な支援金を頂きました。この場を借りて御礼申し上げます。2市2町で大切に使用させていただきます。



熱弁を振るう野村稔氏

また、議会政治は互譲の政治であり、市町村議会では、与野党の意識をなくして住民のためになることを考え、一致点を見いださなければなりません。そのためには、議員間では、妥協が

必要なくともあり「不満足の満足」という考え方が大切である、との提言を頂きました。

講師の野村氏から東日本

## 編集後記

震災から1年が過ぎた岩沼市。これからも安心して暮らせる岩沼のまちづくりのため、私たちも今定例会の新年度予算、事業計画についてスピード感を持った対応を願い、審査を重ねました。

今回の議会報編集作業は、改選後の編集委員で行いました。よりになじみやすい紙面づくりに向けて、文字数、会議録からの抜粋など一字一句を議論して

さまざまな制約がある中で苦しみました。「みんなの声」では市民の皆さまからの声、議会へ期待する思いを寄せていただきました。4月7日に、市内6カ所で開催報告会を開催しました。市民の皆さまの声を議会での提言に生かしてまいります。これからも、皆さまの声をぜひお聞かせください。

議会報編集特別委員会

## 議会報告会を開催

4月7日(土) 午後2・7時に議会報告会を開催しました。  
次回は、決算議会終了後(10月)に行う予定です。